



## 8月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の8月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金 30 万円が贈られます。

### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

**長野 久義 (読売ジャイアンツ)**  
初受賞

長野選手は、8月29日(木)東京ドームで行われた対阪神20回戦、2対2の同点で迎えた延長10回裏の先頭打者として打席に入ると、左翼席に弾丸ライナーで飛び込むサヨナラ本塁打を放ちました。大事な首位攻防戦を連勝して迎えたこの試合は、相手エースに終盤まで抑え込まれていましたが、8回、9回に1点ずつ取る粘りで延長戦に突入。この一打で、同一カード3連勝とライバルを大きく突き放すとともに、現時点でセ・リーグ全球団からの勝ち越しとなる価値ある一発となりました。  
(2011年度スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞受賞 = 月間受賞は初)

### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

**浅村 栄斗 (埼玉西武ライオンズ)**  
2度目の受賞

浅村選手は、8月7日(水)西武ドームで行われた対北海道日本ハム16回戦、4対6で2点を追う9回裏、二死一、二塁、2ボール1ストライクから、ライトスタンドへ逆転サヨナラ3点本塁打を放ちました。この試合は7回まで北海道日本ハムが3度リードし、埼玉西武が3度追いつく展開。8回に2点のリードを許した埼玉西武は、9回裏一死から粘りを見せ、浅村選手の一打へつなげました。浅村選手のサヨナラ本塁打は2011年6月24日・対東北楽天戦、2013年5月31日・対東京ヤクルト戦(5月度スカパー！サヨナラ賞受賞)に続き自身3度目になります。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打を放った選手に贈られる賞として昨シーズン制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間「スカパー！ サヨナラ賞」】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	中村 紀洋 (横浜DeNAベイスターズ)	田中 賢介 (北海道日本ハムファイターズ)
5月度	森野 将彦 (中日ドラゴンズ)	A.バルディリス (オリックス・バファローズ)
6月度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	M.ホフパワー (北海道日本ハムファイターズ)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋カープ)	柘田 慎太郎 (東北楽天ゴールデンイーグルス)
8月度	阿部 慎之助 (読売ジャイアンツ)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンクホークス)
9月度	新井 良太 (阪神タイガース)	松井 稼頭央 (東北楽天ゴールデンイーグルス)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3・4月度	福留 孝介 (阪神タイガース)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルトスワローズ)	浅村 栄斗 (埼玉西武ライオンズ)
6月度	M.マートン (阪神タイガース)	高橋 信二 (オリックス・バファローズ)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋カープ)	嶋 基宏 (東北楽天ゴールデンイーグルス)

【スカパー！ ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (読売ジャイアンツ)	井口 資仁 (千葉ロッテマリーンズ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋カープ)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンクホークス)
2011年度	長野 久義 (読売ジャイアンツ)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンクホークス)
2012年度	和田 一浩 (中日ドラゴンズ)	中田 翔 (北海道日本ハムファイターズ)

以上